



平成26年10月 7日  
国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾事務所

## 出動！台風18号に伴う伊勢湾内漂流物の回収作業

### ～海洋環境整備船「白龍」による清掃活動

平成26年10月6日(月)に通過した台風18号に伴う豪雨の影響により、流木等の漂流物が木曾三川などから伊勢湾内に大量に流出していることが懸念されることから、国土交通省中部地方整備局では10月7日(火)より海洋環境整備船「白龍」(名古屋港湾事務所所属)を出動させ、漂流物の回収作業を実施しています。

なお、台風や集中豪雨の後には大量の流木が河川から湾内に流出することが多く、昨年9月の台風通過後には4日間で約115m<sup>3</sup>、同年10月の集中豪雨の後には約25m<sup>3</sup>の流木・草木等の漂流物を回収し、伊勢湾内の環境保全に貢献しました。

「白龍」は海洋環境保全及び航行船舶の安全確保のため、伊勢湾及び三河湾(港湾区域、漁港区域を除いた海域、約1,800km<sup>2</sup>)の浮遊ゴミ回収に従事するとともに、油流出事故にも対応できるよう油回収機能も兼ね備えた船舶です。

配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

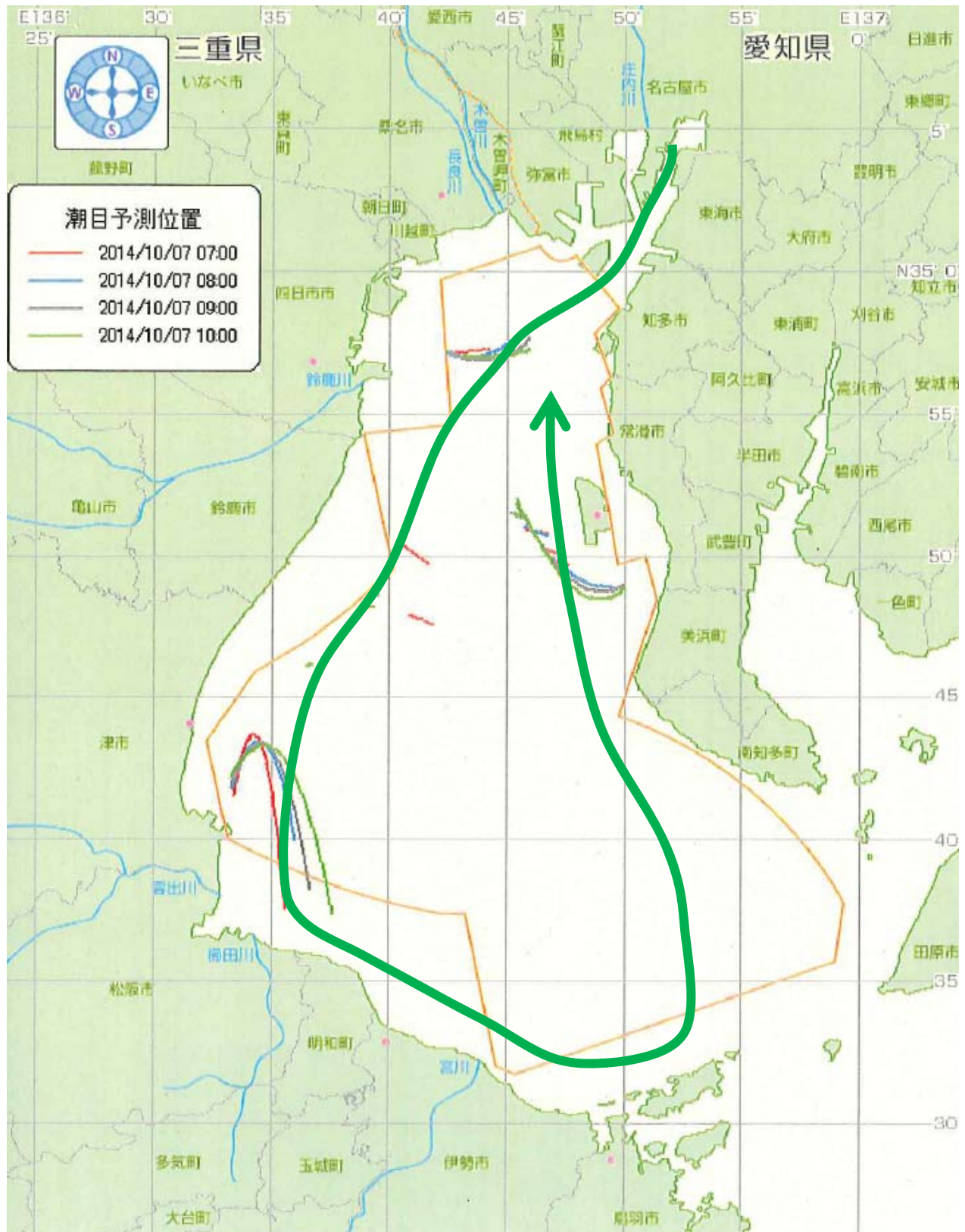
問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 下田(しもだ)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801



## 【参考】白龍による海域清掃ルート(10月7日予定)







【参考】ゴミ回収作業の様子



出航する海洋環境整備船「白龍」



海面の漂流物



漂流物回収状況



回収した漂流物



流木回収状況



# 海洋環境整備船「白龍」の概要

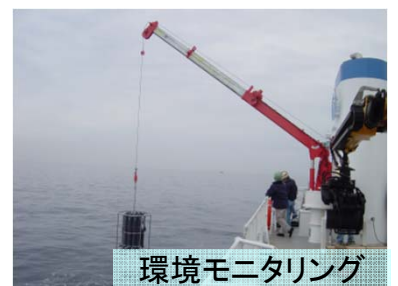
## 「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業。
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業。
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



## 「白龍」の諸元

- 所属  
中部地方整備局  
名古屋港湾事務所
- 基地港  
名古屋港 四号地岸壁
- 全長、全幅、総トン数  
33.5m、11.6m、198t
- 最大速力  
15.1kt (約28km/h)
- 担務海域  
伊勢湾・三河湾 (1,800km<sup>2</sup>)  
(港湾区域及び漁港区域  
等の指定区域を除く)



## 東日本大震災における災害 支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

- 海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

- 漂流物回収量【239.1m<sup>3</sup>】

